【発展問題】

問題1 下記文章　　　　に適語を入れなさい。

 財務会計とは、複式簿記の技術を用いて、企業の ・ （二つ合わせて　　とも呼びます）・資本および損益(利益または損失)正確に測定することによって、企業の　　　　および経営成績を明らかにし、それを企業の外部の　　　　に報告する会計のことをいいます。

　財務会計には、　　　　機能と　　　　機能の2つの重要な機能があります。情報機能面でいえば前者は事後情報であり、後者は事前情報といえます。

制度会計（企業会計制度）は，財務諸表を作成し公表する法律により，①　　　に基づく会計，②　　　　　　・財務諸表規則(正式には「財務諸表等の用語，様式及び作成方法に関する規則」といいます)・ 連結財務諸表規則（正式には「連結財務諸表の用語，様式及び作成方法に関する規則」といいます）に基づく会計，③　　　に基づく会計に分けられます。2006年の会社法制定までは，商法を頂点に，その特別法として証券取引法（現在「金融商品取引法」に移行しています）が制定され、確定決算主義に基づき納税申告書が作成される3つの制度（トライアングル体制とよばれています）のもとで会計制度は構築されていました。しかし，その会社法成立以後，会社法は，株式会社の機関（株主総会，取締役会，監査役会等）をとおして企業を統治する法制度としての役割を果たすようになりました。一方，　　　　　　は，上に述べたように金融商品市場における有価証券の　　や　　の円滑化を図るために企業金融の法制度としての役割が明確になりました。それゆえ，会社法における具体的な会計規定は，　　　　　　に移され，さらにその具体的な基準設定は，　　　　　　委員会に移されるようになりました。日本の企業会計は、上に述べた3つの法律の下で会計実務が行われていますが、これらの3つの法律において具体的な定めのないものについては、一般に　　　　　な会計基準によることとするという規定が設けられています。

戦後混乱期の1949年，経済安定本部・企業会計制度対策調査会（現在の企業会計審議会の前身）は，アメリカの会計原則を参考にし，それに日本の実情を加味して作成した「　　　　　　　」を公表しました。それは、なぜ会計基準として作成されたのでしょうか。その理由を少し長くなりますが，前文で次のように述べています。　「 我が国の

　　　　　　制度は，欧米のそれに比較して改善の余地が多く，かつ，甚だしく不統一であるため，企業の財政状態並びに経営成績を正確に把握することが困難な実情にある。わが国企業の健全な進歩発展のためにも，社会全体の利益のためにも，その弊害は速やかに改められなければならない。 又，我が国経済再建上当面の課題である外資の導入，企業の合理化，課税の公正化，証券投資の民主化，産業金融の適正化等の合理的な解決のためにも，企業会計制度の改善統一は緊急を要する問題である。仍つて，企業会計の基準を確立し，維持するため，先ず企業会計原則を設定して，我が国国民経済の民主的で健全な発達のため科学的基礎を与えようとするものである。」

次にその性格について次のように説明しています。

「　　　　　　は，企業会計の　　の中に　　として発達したもののなかから，一般に

　　　　　　　　と認められたところを要約したものであって，必ずしも法令によつて強制されないでも，すべての企業がその会計を処理するに当たつて従わなければならない基準である。」

解答

財務会計とは、複式簿記の技術を用いて、企業の 資産 ・ 負債 （二つ合わせて財産とも呼びます）・資本および損益(利益または損失)正確に測定することによって、企業の財政状態および経営成績を明らかにし、それを企業の外部の利害関係者に報告する会計のことをいいます。

　財務会計には、利害調整機能と情報提供機能の2つの重要な機能があります。情報機能面でいえば前者は事後情報であり、後者は事前情報といえます。

 制度会計（企業会計制度）は，財務諸表を作成し公表する法律により，①会社法に基づく会計，②金融商品取引法・財務諸表規則(正式には「財務諸表等の用語，様式及び作成方法に関する規則」といいます)・ 連結財務諸表規則（正式には「連結財務諸表の用語，様式及び作成方法に関する規則」といいます）に基づく会計，③法人税法に基づく会計に分けられます。2006年の会社法制定までは，商法を頂点に，その特別法として証券取引法（現在「金融商品取引法」に移行しています）が制定され、確定決算主義に基づき納税申告書が作成される3つの制度（トライアングル体制とよばれています）のもとで会計制度は構築されていました。しかし，その会社法成立以後，会社法は，株式会社の機関（株主総会，取締役会，監査役会等）をとおして企業を統治する法制度としての役割を果たすようになりました。一方，金融商品取引法は，上に述べたように金融商品市場における有価証券の発行や流通の円滑化を図るために企業金融の法制度としての役割が明確になりました。それゆえ，会社法における具体的な会計規定は，金融商品取引法に移され，さらにその具体的な基準設定は，企業会計基準委員会に移されるようになりました。日本の企業会計は、上に述べた3つの法律の下で会計実務が行われていますが、これらの3つの法律において具体的な定めのないものについては、一般に公正妥当な会計基準によることとするという規定が設けられています。

 戦後混乱期の1949年，経済安定本部・企業会計制度対策調査会（現在の企業会計審議会の前身）は，アメリカの会計原則を参考にし，それに日本の実情を加味して作成した「企業会計原則」を公表しました。それは、なぜ会計基準として作成されたのでしょうか。その理由を少し長くなりますが，前文で次のように述べています。　「 我が国の企業会計制度は，欧米のそれに比較して改善の余地が多く，かつ，甚だしく不統一であるため，企業の財政状態並びに経営成績を正確に把握することが困難な実情にある。わが国企業の健全な進歩発展のためにも，社会全体の利益のためにも，その弊害は速やかに改められなければならない。 又，我が国経済再建上当面の課題である外資の導入，企業の合理化，課税の公正化，証券投資の民主化，産業金融の適正化等の合理的な解決のためにも，企業会計制度の改善統一は緊急を要する問題である。仍つて，企業会計の基準を確立し，維持するため，先ず企業会計原則を設定して，我が国国民経済の民主的で健全な発達のため科学的基礎を与えようとするものである。」

次にその性格について次のように説明しています。

「企業会計原則は，企業会計の実務の中に慣習として発達したもののなかから，一般に公正妥当と認められたところを要約したものであって，必ずしも法令によつて強制されないでも，すべての企業がその会計を処理するに当たつて従わなければならない基準である。」

問題2

1. 次の文章のうち正しい番号を答えなさい。

　１　有価証券は費用項目である。

　　２　長期貸付金は資産項目である。

解答蘭

　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　）

解答

　　　　　　　　　　　（　　２　　　）

　解説　１有価証券は資産項目です。

２長期貸付金は資産項目です。

1. 次の文章のうち正しい番号を答えなさい。

　　１　給料は収益項目である。

　　２　有価証券利息は収益項目である。

解答蘭　　　　　　　　　　　　（　　　　）

解答　　　　　　　　　　　　（　　２　　）

解説　１給料は、企業から見ると費用項目です。

２有価証券利息は収益項目です。

1. 次の文章のうち正しい番号を答えなさい。

　　１　受取手形は収益項目である。

　　２　支払手形は負債項目である。

解答蘭

（　　　　）

解答　　　　　　　　　　　　（　　　２　　）

解説　１　受取手形は、手形を受け取ると手形債権（後日手形金額を請求できる債権）が発生しますので、資産項目です。

２　支払手形は、手形を振り出す（相手に交付すること）と手形債務（後日手形金額を支払う義務）が発生しますので、　次の図は貸借対照表の構造をしています。アからオに該当する用語を記入しなさい。

1. 次の図は貸借対照表の構造をしています。アからオに該当する用語を記入しなさい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 貸借対照表 | | | | |
|  | ア | |  | ウ |
|  |  |  |
|  | オ | エ |
| イ |  |
|  | |  |

解答蘭

　ア（　　　　　　　　　　）

　　　　　イ（　　　　　　　　　　）　　　　　ウ（　　　　　　　）

　　　　　エ（　　　　　　　　　　）　　　　　オ（　　　　　　　）

解答

　　　　　ア（　流動資産　　）

　　　　　イ（　投資その他の資産　）　　　　　ウ（　流動負債　　）

　　　　　エ（　株主資本　　　　　）　　　　　オ（　純資産　　　）

1. 次の資料から棚卸資産に該当する金額を計算しなさい（単位：千円）。

　　貯蔵品　　100　売掛金　　300　　　商品　500　　　　製品 200

　　仕掛品　　50　 原材料　　100　　　現金　 50　　　　借入金 120

解答蘭　　　　　　　　（　　　　　千円）

解答

（　　　950　　千円）

解説

　貯蔵品100＋商品500＋製品 200 ＋仕掛品50＋原材料100　＝950

1. 次の資料から流動負債に該当する金額を計算しなさい（単位：千円）。

未払金　　100　 売掛金　　300　　　長期借入金　500　　預り金 200

　　商品　　 　50　 資本金　　100　　　現金　 50　　短期借入金 120

解答蘭　　　　　　　　（　　　　　千円）

解答

（　　420　　　千円）

解説

未払金100＋預り金 200＋短期借入金 120＝420

問題3

（１）　期首商品棚卸高　\50　　当期純仕入高　　\800

当期売上高　　 \900

のとき、期末棚卸高は\90あったとすると、売上原価と売上総利益はいくらですか。

解答蘭

|  |
| --- |
| 売上原価 |
| 売上総利益 |

解答

|  |  |
| --- | --- |
| 売上原価 | \760 |
| 売上総利益 | \140 |

解説

期首商品棚卸高　\50＋当期純仕入高　\800―期末棚卸高　\90＝売上原価　\760

当期売上高　\900―売上原価　\760＝売上総利益　\140